群馬イノベーションアワード パートナー トップ座談会④

時流のつかみ方

先行き不透明な時代に半歩先、一歩先を読み、成長戦略をどう描くか。オープンハウスの荒井正昭社長ら6人が「時流のつかみ方」「事業拡大のヒント」をテーマに語り合った。

出席者

オープンハウス	荒井　正昭社長
クライム	金井　　修社長
三ラージ	小野里洋平社長
西建	西川　定男会長
ボナ	高橋　礼人社長
ル・ソレイユ	田中　泰亨社長

活発に意見交換した（左から）小野里さん、金井さん、荒井さん、西川さん、高橋さん、田中さん　＝ギンザシックス・オープンハウス銀座サロン

一歩先を読み切れ

事業拡大のヒント

スピード感を重視　荒井

あらい・まさあき　1965年、旧藪塚本町（現太田市）生まれ。都内の不動産会社勤務を経て、97年に不動産業のオープンハウスを設立。都心を中心に事業を拡大、2013年に東証1部上場。

荒井　20年前に会社を立ち上げた。売上高は3千億円に達し、業績は好調に推移している。「東京に、家を持とう。」を掲げ、東京23区や横浜市など都市部の人気エリアを中心とした住宅販売が強み。人気エリアだけに同業他社との土地取得の競争はかなり激しいが、「負けたら終わり」のトーナメント戦のような姿勢で臨み、ほぼ勝っている。その要因はスピード、購入価格、営業マンの人柄の3点。特に意思決定のスピード感を重視している。

「収益物件」に特化　小野里

おのざと・ようへい　1978年、藤岡市生まれ。高校卒業後、ペンキ職人や不動産会社勤務を経て2006年に起業。収益物件を売買する不動産事業のほか、震災復興の住宅ビジネスも展開。

小野里　アパートやマンションの売買の中でも投資家向けの「収益物件」に特化して不動産ビジネスを展開している。会社の中で大切にしているのは、なぜ、何のために私たちは仕事をしているのか、という問題意識。いろいろと考え方はあるが、各自の周りを良くしたい、地域社会に貢献したいというところに行き着く。一方で、不動産というフレームにとらわれず、自由な発想でビジネスをつくり、顧客を創造するという意識付けも重視している。

カラー店に女性経験者　高橋

たかはし・あやと　1973年、大泉町生まれ。美容師の両親の影響もあり、2004年に「HAIR WORKS bona.」を開業。現在、美容室とヘアカラー専門店各4店舗などを手掛ける。

金井　小型無人機のドローンを活用した空のビジネスに本格参入する。当社はソフトウエア開発が専門で、ドローンの心臓部であるOS（オペレーティング・システム）の開発に取り掛かる。政府の新たな成長戦略にドローンを使った荷物配送を2020年代に都市部で本格化させると盛り込まれている。人手不足が深刻な物流業界にとどまらず、老朽化が進む橋など人が近づきにくい公共インフラの点検にも使えるだろうし、その用途は多岐にわたり、多くの可能性を秘めている。

西川　戦後間もなく木製建具店を創業した父親が高校2年の時に亡くなり、卒業後に家業に入った。住宅メーカーや県内のゼネコンと長くお付き合いさせていただき、建具や家具の製造販売はもちろん、住宅の外構工事もやってきた。建具や家具は今や大量生産の時代で、私たちの業界を取り巻く環境は大きく変化し、厳しさを増している。そんな時代だからこそ、熟練の技術を持つ職人による一品、一品手作りの生産にこだわって差別化を図っていきたい。

手作り品にこだわり　西川

にしかわ・さだお　1951年、前橋市生まれ。高校卒業後、木製建具・特注家具製造販売の家業に入り、父親の後を継いで社長に就任。店舗設計デザイン、エクステリア展示場も展開。今年9月から現職。

田中　事業の拠点は伊勢崎だが、今年、高崎に初めて出店して計10店舗まで拡大した。きれいでおしゃれな雰囲気を心掛けているからか、中心的な客層は40代の女性。店舗の半分を女性専用、半分を男女兼用に分けるなど女性が安心して施術を受けられる環境をつくり、差別化を図っている。事業エリア的には群馬の玄関口、高崎を軸に今後の展開を狙っている。

高橋　当社も来年2月に高崎に進出する。業態で最近伸びているのは髪染めのカラー専門店。現在、群馬と栃木、埼玉で計4店舗を運営しているが、気軽さやリーズナブルな料金が受け、2週に1度という人もいる。難しいのは色材の調合。これを解決するため、タッチパネルで簡単にできるシステムを開発しており、来春にはBtoBで全国に売り込む。

群馬をIT先進県に　金井

かない・おさむ　1961年、沼田市生まれ。群馬富士通勤務を経て、89年にクライムを設立。金融・行政のシステム開発と積極的なM&A（合併・買収）などで事業を拡大してきた。

荒井　これからは海外事業にも力を入れる。この銀座サロンは今春に開業した大型複合施設「GINZA SIX（ギンザシックス）」の中にあり、アメリカの不動産を国内の投資家や資産家に購入していただくための情報提供、商談の拠点として開設した。プロ野球・日本ハムの大谷翔平選手を当社のCMに起用させていただいたが、米大リーグへの移籍が決まれば、次は「アメリカに、家を持とう。」の流れにつなげたい。

小野里　荒井社長が不動産でここまでいけるという高い山を示してくれているが、われわれは限られた人数でやっているので、何もかもに手を出すのではなく、限りある経営資源を収益物件売買の1点に集中している。年金の先行きが不透明で、100歳まで生きる人が多くなる流れの中、60歳以降の収入を安定的に得る方法として、不動産投資を提案していく。

金井　2020年度に小学校で必修化されるプログラミング教育にも力を入れ、「ぐんまプログラミングアワード」を推進している。世界最先端のIT企業が集積しているアメリカのシリコンバレーにならい、群馬をIT最先端の県にするため「群馬シリコンバレー構想」を掲げ、人材育成と地域発展に貢献したい。

田中　選んでもらえる店づくりには、何にこだわっているかをはっきりさせることが大切だと考えている。当社は治療家の集団として、「治す」ということにこだわっていきたい。レントゲンや注射、投薬ができる整形外科医院と違う整骨院ならではの東洋医学治療の魅力を知ってもらいたい。また健康保険適用外の自費メニューも充実させて、さまざまな顧客ニーズに対応していく。従業員は技術職なので人材確保を着実に進め、店舗を徐々に増やし、地域に必要とされる企業を目指す。

店舗半分を女性専用　田中

たなか・ひろゆき　1973年、太田市生まれ。柔道整復師。2005年、伊勢崎市で「ひなた接骨院」を創業。エステ、介護、トレーニングジムなど健康事業に特化して店舗展開。今年、高崎市に進出。

高橋　美容師は2、3年である程度の技術者になるが、独立してもうまく回らないケースが多く、社会保険に入っていない人も目立つ。青色申告をせずに家や車が買えない人もいる。だから弊社のような会社がしっかりと成長しなければいけないと思っている。若い人を育てる機能があり、カラー専門店では結婚や出産でいったんやめた女性のカムバックの場として機能している。学生1人に40件の求人がある業界。人材確保に向けて知名度を上げる必要があり、高崎出店にはその点でも期待している。

西川　9月に社長を退き、会長となった。新社長は職人仕込みの私とは異なる発想、視点で事業を展開してくれるだろう。店舗の設計デザインや施工もしていて、これからは東京での営業を強化したいと考えている。

次回は28日の掲載予定。

群馬イノベーションアワード2017
12.2(土)ファイナルステージ開催!

入場無料
事前申し込み不要

@ヤマダグリーンドーム前橋　Open 15:00 / Close 18:00

群馬イノベーションアワードとは?
暮らしに変革をもたらすビジネスに挑戦する人材を発掘し、光を当て、家庭や学校、会社や地域にイノベーションの風を送るプロジェクトです。　Web：www.gi-award.com

特別講演　エバーノートジャパン元会長が起業家、学生にアドバイス

外村 仁
東京大工学部卒。アップル社でマーケティング本部長などを歴任。シリコンバレーでストリーミング技術の会社を共同創業し、資金調達から売却までを経験する。現在は総務省の「異能vation」プログラムアドバイザーなどを務める。

マーチングフラッグを駆使し、パワーと情熱あふれるダンスに注目

高崎商科大学附属高校ペップアーツ部
来年1月に全国大会出場

群馬を見る、触れる、楽しむ。
群馬イノベーションマーケット同時開催!
[時間] 13:00-18:00
[場所] ヤマダグリーンドーム前橋2・3階コンコース
昨年から始まった「群馬イノベーションマーケット」が今年もやってきます。
会場を盛り上げるのは、群馬の若きイノベーターや手仕事作家、地元飲食店の皆さん。
群馬に秘められた可能性を肌で感じてください!

GIAファイナリストブース
企業ブース
ハンドメイドブース
フードコーナー

【問い合わせ】上毛新聞社事業局　TEL: 027-254-9955（平日午前9時～午後5時）　E-mail: info@gi-award.com